

ふるさとを愛し 心豊かに たくましく羽ばたく

「家庭は心のねっこになる」

家庭教育（＝父母その他の保護者が、子どもに対して行う教育）は、すべての教育の出発点です。

子どもは家庭で、生活習慣、いのちの大切さ、感謝や思いやりの心、社会のルールやマナーなどたくさんを学ぶのです。そして、子どもにとって家庭は心の安全基地であり、ほっとしたり、楽しさを共感したりするふれあいを大切にできる場所なのです。

しかし今、家庭をめぐる背景・現状や子どもたちを取り巻く環境も大きく変化し、多様化しています。そのような中で、全国では約7割の保護者が子育ての悩みや不安を感じている状況だという調査結果があります。親の不安が、子どもの不安につながっていきます。

子育てが「孤育て」にならないよう、保護者同士、あるいは保護者と地域の皆さん、保護者と保育所・学校などの関係機関とがつながっていくことが大切です。そして、保護者のみならず、家族やまわりの地域の皆さんが「家庭教育の重要性」について改めて考えていただくことが、日野町の子どもたちが健やかに育つことにつながります。



鳥取県家庭教育支援啓発キャラクター「ねっこりん」

「家庭教育」のポイント

★生活習慣を身につけよう

- ・早寝早起きで生活リズムをつくりましょう
- ・毎日朝ごはんを食べましょう
- ・メディア利用にルールをつくりましょう

★生きる力を育てよう

- ・あいさつを交わしましょう
- ・ルールやマナーの根本を示しましょう
- ・家族の一員としての役割を与えましょう

★家族の時間をつくろう

- ・子どもとふれあいましょ
- ・家族で読書を楽しみましょう

★夢を育てよう

- ・一緒に夢を語り合いましょ
- ・さまざまな体験をさせましょ

★広い心で受けとめよう

- ・しっかりとほめましょ
- ・「教える」「叱る」ときは心を込めて向き合いましょ
- ・会話を増やし家族の絆を深めましょ
- ・子どもの力を信じましょ

誰もがちよつとずつ、親になっていくのではないでしょう。家庭が親にとつても子どもにとつても、安心・安全な場であるために、保護者や子どもたちを「応援する」イメージで、地域全体で、見守る・包む・寄り添っていくことができれば、誰一人取り残すことない子育て・教育ができると思います。

『家庭は心のねっこになる』ように、みんなであつながら日野町の宝である子どもたちを育てていきたいですね。



※子育て支援室「おひさまひろば」からも情報をお届けしています。ぜひ、子育てにお役立てください。

各学校での地域学校協働活動

6月・7月には、さまざまな教科でゲストティーチャーが授業に参画し、子どもたちは日野町のことなどたくさんを学ぶことができました。また、各学校の校内マラソン大会での見守り、小学生の町内施設や事業所などの見学、中学生の職場体験学習でも、多くの地域の皆さんにお世話になりました。

<6月> ・校内マラソン大会見守り（根雨小・黒坂小） ・読み聞かせ（各校）
 ・日野高との田車押し交流（黒坂小・根雨小） ・まち探検（根雨小）
 ・ゲストティーチャーを招いての学習（各校） ・防災学習（根雨小）

<7月> ・校内マラソン大会見守り（日野中） ・読み聞かせ（各校） ・くぬぎの森見学（根雨小）
 ・職場体験学習（日野中） ・しいたけほだ場見学（根雨小） ・交通安全教室（根雨小・黒坂小）

≪地域学校協働本部の活動に根雨小児童が参加しました≫

・「はるかのひまわり絆プロジェクト」ひまわり苗植え

Facebook でも情報をお届けします (<https://facebook.com/hinocommunityschool/>)

【問合せ先】町教育委員会事務局（電話 72-2107） E-mail:kyouiku@town.hino.tottori.jp



日野高 NEWS

日野郡唯一の高等学校である日野高校。日野高生ってどんな活動してるの？地域とのつながりを大切にしている日野高生の姿を、日野町の皆さんにお届けします！



7/3
(土)

農産物や加工品などを販売

日野高ショップ根雨店開催！

新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、「日野高ショップ根雨店」を日野高校で開催し、約2年ぶりに地域の皆さんに会場していただきました！情報ビジネス系列とアグリライフ系列の3年生が、受付、控え室・販売教室への誘導、商品説明、レジなどを担当しました。



◀商品を求め多くの人々が来場

生徒たちは、お客さんに臨機応変に対応しようと、一生懸命に考え、働いていました。実際にお客さんの対応をするなかで、生徒たちは多くのことに気づき、失敗することも含めて、小さな達成感や自信を積み重ねていきます。お客さんのなかには、新型コロナウイルス感染症が流行する前からよく来場していた人も！担当教員にとっても、うれしい再会がありました。

7/15
(木)

「本物」を使って選挙を体験

選挙出前講座

梅雨明け一番、気温もグッと上昇する中、日野高校体育館で全校生徒対象の「選挙出前講座」が開催されました。公職選挙法改正で選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、高校生にとって「選挙」がこれまで以上にリアルなものになる中、日野高生にも意識を高めてもらおうと企画されたものです。



▲実際と変わらない投票箱と投票用紙で選挙体験



▲選挙の流れを事前に説明

実際に日野町役場で選挙業務に当たる町選挙管理委員会職員の方を講師として、町の選挙で使用する投票箱などの用具や投票用紙など「本物」を用いての講座となりました。架空の立候補者2人とその公約を想定し、実際に選挙をしてみた生徒たち。学校の選挙管理委員の生徒が受付や立ち会い、開票など、実際の業務をサポートする役となり、なかなか緊張感のある講座になりました。

遠からず全ての生徒が実際に選挙を経験することになりますが、その時には国民の権利そして義務としての選挙権を、正しく行使してもらえればと思います。